

令和四年度 奈良県租税教育推進連絡協議会長賞

自分の為、家族の為、人の為に

育英西中学校 三年 折田 心美

好きなおかしを買うにも、かわいい文房具を買うにも、すべて消費税を支払って物を購入している。私はいつも消費税がなければもう少し安く買えておこづかいがこんなに減る事はないのと思っていた。でも納税は義務だからと納めるといことばかりに意識が向いていた。

私は、今年の夏 39 度の発熱で病院に行くことになった。PCR の検査を受けてコロナと診断された。お薬を病院で受け取って、医療費や薬の代金を家族がいつも通り支払うのだと思ったが支払いはしなくてすんだ。母にどうしてか聞くと、コロナにかかった人は国や地方自治体が税金を財源とした公費で医療費を負担してくれるから、自分達でお金を支払わなくてもいいんだよと、教えてくれた。その時初めて私達の納めている税金は、私達国民のために使われているんだと実感した。私は、軽症だったため 1 度病院を受診しただけだったが、重症の方で入院をしなくてはならない場合など高額な医療費がかかるが、私達が納めた税金によって負担してもらえるのであれば、安心して治療に専念できると思った。

日本では、コロナでなくとも無料で救急車を呼ぶことができる。これも税金で負担してもらっているからだ。しかし外国によっては、救急車を呼ぶのに費用がかかる国があると授業で教えてもらった。もし、日本も費用がかかるとなったら、道で倒れている人を見かけた時、私はどうするだろう。費用がかかっても命より大切なものはないので、救急車は呼ぶと思った。でも本当に救急車を呼ばないといけないくらい重症なのかは一旦考えるだろう。そこで私は思った。自分のお金だと本当に救急車を呼ぶ必要があるかを一旦考えるのに、無料ならとりあえずすぐに救急車を呼ぶという考えは果たして正しいのだろうか。自分のお金を使うことも、もともと自分のお金で納めている税金も大切に使わないといけないというのは同じなのではないか。

税金は国民みんなの大切なお金を納めているものなのだから。

私は、税金を納める事も大切だけど、税金の使い道をちゃんと知っておく必要があると思う。私は社会の授業で国民の医療費の他にごみの処理、警察や消防費も税金から支払われていることを知った。私達が安心して安全に暮らすことができたり、学校にも豊かな気持ちで通うことができるのも税金を納めているからだと分かった時、消費税を支払って嫌な気持ちになっていた自分はいなくなった。

税金を納める事が自分のため、自分の家族のため、人のためになっていると思うと大した金額ではないと思う。納税することで人の役にたっていると誇らしい気持ちになった。

将来大人になっても税金が何にどのくらい使われているかを意識し、国民の義務をはたしていきたいと思う。